



青き楓

島高だより
平成25年12月号
(通巻第93号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長随想 湧水抄

「緩み」を自戒せよ

校長 北浦剛資



島高生の「S」は「Stoic」のS。小さな油断が大きな失敗へとつながる。

■島高生は「信頼に足る」

つくづく島高の校長であることを誇りに思っている。それは、生徒がすばらしいからに他ならない。きついだらうと思うのに笑顔を決やさない、立ち止まっての挨拶や長い廊下の雑巾がけがきちんとできる、授業中顔を上げてよく先生の話の聴いている、青楓祭などの学校行事では節度を保ちながらも仲間と協調し工夫して創造的な発表ができる、一度決めたらとことん継続し気づいたら高みに到達している、困難があってもへこたれず粘り強く挑戦する、能力が高くても傲慢にならず謙虚さを忘れない……、そんな島高生と接するたびに胸が熱くなる。そして改めて、「島高生は信頼に足る」の思いを強くする。

■「1:29:300」の法則

一方、油断を見せる生徒もいる。緊張の連続では精神的に参ってしまうので、楽しんだりゆとりの「遊び」は必要だが、しかし「遊び」と「緩み」とは違う。志の低い人間は、ややもすると情性に流れ、たやすく節を曲げてしまう。生活の刹那に緊張がなく、態度や言動に「緩み」が表れてくる。「ハインリッヒの法則」を知っているだろうか。労働災害における経験則の一つであるが、1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在するというものである。異常とは、事故には至らないもののヒヤリ・ハッとした事例をいう。重大な災害を防止するためには、日ごろの小さな異常の段階で対処することが大切だと説いている。このことは、個人の行動においても然りである。小さな「緩み」が重なると、取り返しがつかないほど大きな失敗へとつながることがある。『徒然草』第九十二段の「懈怠の心」も、学校生活を「修行」と捉える考えも、これらと通底している。常に我が身を振り返り、自ら戒め律する態度こそ、品格ある島高生の姿である。

剣道部

第2回登龍杯争奪全国高校選抜剣道大会

女子団体 優勝

平成25年度中地区高等学校学年別剣道大会

2年男子 優勝 牧島 凜太郎 3位 大石 佳慶

1年男子 優勝 平野 翔太 2位 鶴浜 貴志

3位 牧島 竜馬

2年女子 優勝 進藤 暖佳

1年女子 優勝 藤崎 薫子

3位 杉本 唯子 大園 望夏

部活動実績

美術部

平成25年度長崎県高等学校総合文化祭

優秀賞 林田 麻里 大町 寧玖

優良賞 関 よしの 藤田 明里

中島 祐子

写真部

平成25年度長崎県高等学校総合文化祭

優良賞 佐藤 純子

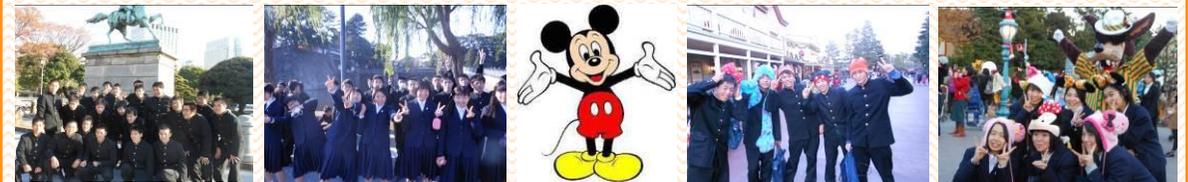
★修学旅行★

天候に恵まれ、予定通り3泊4日の修学旅行を終えることができました。昨年より1日短い日程になりましたが、その分ぎゅっと詰まった研修となりました。恒例の都内事業所訪問・筑波研究施設訪問では、普段見ることの出来ない世界に触れ、生徒一人ひとりが今後の進路・将来を深く考えることができました。様々な研修を通して、見聞を大いに広め、貴重な体験を積んでくれたと思います。保護者の皆様、関わってくださった皆様方に感謝申し上げます。

修学旅行も無事終了し、67回生もいよいよ進路実現に向けて学業充実の時を迎えます。ご家庭におかれましても、今後ともご協力を宜しくお願いいたします。

2学年主任 増田 裕和

〈1日目〉 都内全体研修☆東京ディズニーランド



〈2日目〉 都内大学・事業所自主研修☆筑波研究所訪問



〈3日目・4日目〉 京都市内自主研修☆京都全体研修



生徒感想

☆修学旅行を通して、色々な人と関わりを持つことができ、充実した4日間を過ごすことができました。事業所訪問や京都研修では、自分が知らない世界を見ることができ、とても良い経験ができたと思います。あっという間の4日間だったけど、一生の思い出ができました。今回訪れた土地や、そうでない所にも是非行きたいです！本当に充実した修学旅行でした。

☆高校生活最も楽しみにしていたイベント修学旅行、友達とずっと一緒にいたり、色々な場所で遊んだり研修したり、とても良い思い出となりました。中学のときはまた違う感じでとても楽しかったです。

☆3泊4日の修学旅行で、私は周囲と協力することの大切さを学びました。私が一番心に残ったのは、3日目の京都タクシー研修です。京都ならではの文化にもふれることができ、とても楽しかったです。

3年生夜間学習会

3年担当 鈴木 直子

12月9日(月)から19日(木)までの9日間、夜19時から22時まで学校で学習を行う夜間学習会(通称「夜学」)を行いました。約90名が希望し、黙々と机に向かっていました。センター試験までもう一ヶ月をきりました。66回生みんなでがんばっていきましょう！送迎をしてくださった保護者のみなさん、ありがとうございました。



生徒の学習の記録より



- 周りのみんなも頑張っている姿を見て、一緒に頑張っていきたい思いが強くなった
- 勉強できる環境をつくってくれる先生、親に感謝したい。この感謝を合格で！
- 夜学が終わっても自宅と同じように集中して取り組んでいきたい。

理数科☆鹿児島ジオパーク現地学習



桜島を背景に

桜島の噴火！

2学年理数科植生班8名は、12/7(土)・8(日)の2日間、霧島と桜島ジオパークを訪れ、地元の植生や歴史、地質的遺産を現地学習してきました。

初日は霧島を中心に学習を行いました。えびのエコミュージアムセンターおよび高千穂河原ビジターセンターを訪問し、噴火で作られた台地や植生における遷移の様子などを体験することができました。また、ミヤマキリシマなど現地でしか見ることのできない植物にも触れてきました。

2日目は、場所を桜島に移し、展望台での桜島の観察や火山灰で埋没した鳥居を見学しました。この日は運良く、桜島の噴火を見ることができました。桜島は年間800~900回ほど噴火しているそうです。

今回2日間の鹿児島ジオパーク現地学習は、生徒にとって驚きや発見がたくさんあり、有意義な学習となったようです。

理科 森下 忠道

歳末助け合い募金活動

12月9日~13日の期間に実施された「歳末たすけあい募金運動」の一環として、9日・10日の2日間、エレナ島原店・ダイエー島原店・ウィルビーの前で街頭募金活動を行いました。募金は長崎新聞社を通じて、共同募金会に寄付いたします。今年も厳しい経済状況の中、たくさんの募金をお寄せいただきました。市民の皆様から感謝申し上げます。

東日本大震災義援金 45,068円+
校内募金 58,554円+街頭募金 101,716円=計 205,338円



ご協力ありがとうございました！

1月の主な行事予定

- | | | | |
|--------|------------------------|--------|------------------------------------|
| 1日(水) | 元日 | 17日(金) | 火曜日授業 |
| 3日(金) | センタープレテスト(～4日) | 18日(土) | 大学入試センター試験～19日
県新人戦(サッカー・バスケット) |
| 4日(土) | 西九州新人バレーボール大会(～6日) | 20日(月) | センター試験自己採点(3年) |
| 6日(月) | 冬季補習(～7日) | 21日(火) | 特別編成授業開始(3年)
地学講座研究発表(理数科1年) |
| 8日(水) | 始業式・校内実力(1・2年) | 22日(水) | 登校指導(～24日) |
| 9日(木) | 学習環境調査(1・2年)
月曜日の授業 | 23日(木) | マラソン大会試走(1・2年) |
| 11日(土) | 土曜講座
2年生中地区学習交流会 | 25日(土) | 進研記述実力(1・2年)
出願校面談(3年～26日) |
| 14日(火) | 地学講座(理数科1年) | 26日(日) | 進研記述実力(2年) |
| 15日(水) | 情報モラル・マナー指導 | 28日(火) | マラソン大会・PTA炊き出し |
| 17日(金) | 大学入試センター試験出陣式 | | |



赤ちゃんだっこ・妊婦体験

家庭科保育分野の授業の一環として「すてきなパパママ体感活動」を実施しました。赤ちゃんの柔らかさ、命の重さ、赤ちゃんを取り巻くたっぴりの愛情を感じることができました。たくさんの愛に見守られてここまで育ったみんなの命もとっても大切です。将来すてきなパパママとなって下さいね。

家庭科 吉原真知子

生徒感想

○この体験のおかげでそう遠くない未来のことを考えることもでき、お母さんたちの強さに感動しました。(女子)



○赤ちゃんといっぱい触れあって命の素晴らしさを感じることができました。赤ちゃんの首の柔らかさにはとてもびっくりしました。(男子)



○赤ちゃんはとても小さくかわいかったです。おむつ替えをしました。全く汚いと感じませんでした。最後にお母さんや園長先生からお話がありました。とても感動しました。(男子)



○赤ちゃんは温かく柔らかく、そして思っていたよりも重くて命の力強さを感じました。(女子)

○赤ちゃんはかわいくて愛おしい存在だなあと感じました。赤ちゃんを抱っこして命の尊さや暖かさを知ることができました。この体験では私たちの将来についてきちんと見つめるための濃い2時間だったと思います。私もすてきなお母さんになりたいです。(女子)